

島根県保育三団体会議

島根県保育三団体は、11月20日午前、県内関係役員が予算対策活動の一環として、保育制度の充実のために島根県（健康福祉部）並びに島根県議会（議長）に陳情を行い、そして夕刻には島根県保育振興議員連盟の総会に出席して要望しました。

今年度は、9/21、10/11の保育三団体会議で打合せ協議を行い、取り組み方法や要望項目の調整をして今回の陳情となり、当日には保協6名・日保2名・私保連4名（板木副会長・錦織副会長・山本副会長・吉田事務局長（議連総会のみ））の役員が出席しました。

要望項目は次のとおりです。

【平成18年度要望項目】

1. 国に対する要望について...民間保育所運営費等の現行制度の堅持
調理室必置義務の堅持
2. 過疎地における保育所対策について...運営対策運営対策事業の拡充
3. 各種保育施策について...県単独補助制度「しまね子育て総合支援推進事業」などの堅持
障害児等保育対策事業の現行水準の維持
障害児等保育事業について補助対象児童数の変更

全私保連予対請願集会

11月30日、東京・海運ビル（日本海運クラブ）にて、平成18年度予対請願集会並びに“少子社会の保育を語る集い”がありました。

島根私保連から古川会長・緋川予対部長が、請願集会後、島根県選出の国会議員事務所を訪問して陳情活動を展開し、保育を語る集いに出席しました。

島根私保連理事会

12月7日、出雲市・ウェルシティ島根にて、平成18年度第3回理事会を開催しました。

当日は、各専門部の報告事項の他、「認定こども園」認定園等の加盟資格、役員数等の変更や役員任期満了による事前協議、平成19年度定期総会開催地等について次のように協議しました。

私保連の加盟資格...「認定こども園」認定園については保留。但し、公設民営園については、民営化が進む中で、指定管理のような施設ができたことなど、従来の状況も変わってきているので、今後検討する。

役員数等の変更...役員数については、従来に比べて加盟数が増え、ブロック間においても格差が出てきたこと、また専門部等の事業が円滑に推進できることを目的として、理事数の是正並びに部員の配置を考えたが、継続審議（保留）とした。

役員任期満了による事前協議...今年度までに各ブロック内で選出する方向を確認。

平成19年度定期総会...5月16日（水）/大田市・あすてらす

尚、次回理事会は、4月24日に新旧両理事役員の出席で開催する予定ですが、できれば今年度までに正副会長（ブロック長）会を開催する予定です。

島根青年会議の研修

12月8日、島根青年会議は、今年度第2回目の「“出前”研修」を開催しました。

今回は、江津市で行われ、あさり保育所・敬川保育所を見学し、意見・情報交換をしました。これで、今年度の青年会議の研修はすべて終了しました。